

# 平成26年7月災害復旧技術専門家派遣について

## 1. 概要

### 【日時】

平成26年7月17日～18日

### 【場所】

山形県南陽市

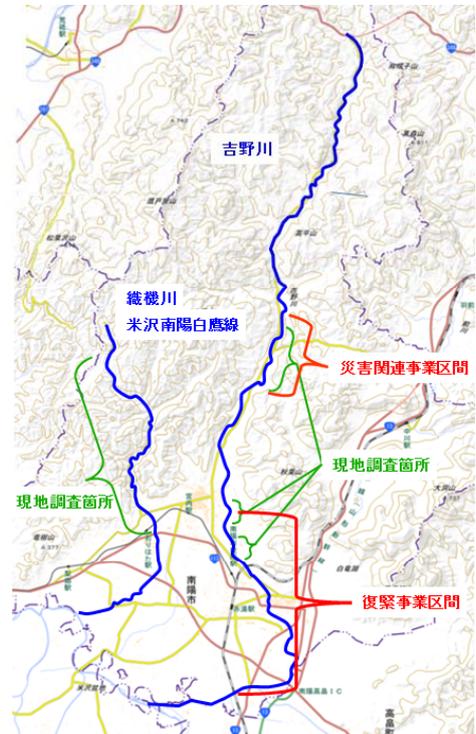
### 【日程】

17日:(主)米沢南陽白鷹線、織機川

18日:吉野川

### 【同行者】

- ・山形県 県土整備部河川課、道路保全課、砂防・災害対策課  
置賜総合支庁道路計画課、河川砂防課
- ・南陽市 建設課



## 2. 調査状況

### ○織機川



道路被災状況



河川埋塞状況



河川埋塞状況



河川被災状況



重機被災状況

○織機川



河川被災状況



フラワー長井線鉄道橋応急  
工事状況



フラワー長井線鉄道橋応急  
工事状況

○吉野川



河川被災状況



河川被災状況



道路橋被災状況

○マスコミ(現地取材状況、新聞記事)



## ○会議とりまとめ



### ◎7月17日 一級河川織機川、主要地方道米沢南陽白鷹線

- ・河川の流下断面を確保して、道路を盛り上げるなどして、残土をなるべく現場から搬出しないように検討すべき。
- ・現場の地形を改変する前に、ビデオ撮影等を実施すべき。
- ・土砂流出が多いことから、上流部は河川の埋塞災として提案するのが望ましい。
- ・LPデータを作成後すぐに、仮設計画、本計画を立てて、本省打合せを行うべき。
- ・上流部の堆積土砂を下流へ流さないような手だてを講じること。(下流河川の埋塞防止)
- ・土砂を寄せるなどして、現場から土砂を出さないように検討すべき。

### ◎7月18日 一級河川吉野川

- ・河畔林をなるべく残すよう検討すべき。
- ・土砂の埋塞深さを簡易的に調べるには、ピンポールを使用すべき。
- ・昨年と今年の被災状況がわかるようにすべき。
- ・被災メカニズムを明確にし、原因に対し、適切な工法を選定すべき。
- ・取水施設など関係機関とすみやかに協議すべき。